

学部案内
2026

看護学科

Department of Nursing Sciences

理学療法学科

Department of Physical Therapy

作業療法学科

Department of Occupational Therapy

放射線学科

Department of Radiological Sciences



TOKYO METROPOLITAN UNIVERSITY

東京都立大学

健康福祉学部



豊かな人間性を備えた 実践的保健医療職業人 を育てます。

▶ 教育の理念

本学部の使命は、豊かな人間性、幅広い教養、高度な専門知識と技術、さらに学びを現場での実践に応用できる力を持った保健医療職業人の育成です。

本学部の大きな特色は地域との連携です。東京都が設置した医療系学部として、大都市・東京が抱える多種多様な健康・医療課題を解決すべく、さまざまな形で東京都や荒川区等の自治体、地域との連携が本学部では進められています。また、東京は世界都市でもあります。「国際的視点を有する医療人」の育成も目標の一つです。本学部は、さまざまな研究・教育プログラムを通して海外との交流を進めています。

このような目的に向かって、自ら課題を見つけ、自ら考え、自ら実践できる高度医療専門職・研究者・教育者を育成するためのプログラムが、本学部には備わっています。具体的には、1年次には南大沢キャンパスでさまざまな学部の学生とともに教養科目や専門基礎科目を学び、総合大学ならではのカリキュラムの中で、幅広い視点を獲得します。2年次からは荒川キャンパスで学び、医療専門家として必要な、高度で専門化された知識・技術を学びます。

▶ アドミッション・ポリシー

生命の誕生から終焉に至るまでの多種・多様な健康・医療課題を有する方々と時間を共有し、その方々を敬愛し寄り添うことができ、かつ、自己の成長とともに豊かな人間性を得るために自己研鑽できる人材を求めます。

大都市の健康未来を創ることのできる実践的医療職・専門職を養成します。そのためには、幅広い教養を身につけ専門的知識・技術とともに医療的倫理観を基盤にして、患者の皆様や障がいを持つ方々の病状や症状並びにその方々を取り巻く環境を把握し、さまざまな状況にも対応できる人材を育成します。

【求める学生像】

1. 人の健康に関心を持ち、グローバル化した大都市東京の多種・多様な健康・医療課題に挑戦できる人
2. 健康に問題を抱える人々を敬愛し、寄り添うことのできる豊かな人間性を有する人
3. 豊かな教養と専門的学問知識（知の継承）を基盤にし、自ら考え、実践（知の応用・展開）できる人
4. 現在の臨床医療の遂行にはチーム医療が不可欠であり、他の専門職を理解し協働して学ぶ姿勢を有する人
5. 国際的視点を有し、異文化に対して寛容かつ柔軟に対応できる人



学部長メッセージ

現代社会は、少子高齢化や頻発する大規模災害、環境問題と気候変動、経済・教育格差や貧困、多様性の尊重と共存など、多くの課題に直面しており、これらは健康や生活の質を脅かすさまざまな問題を引き起こしています。保健医療の専門職は、そうした社会のニーズを敏感に捉え、対応する、とても広範な役割を担います。

健康福祉学部には、地域社会の身近な問題から世界規模の課題まで、多様なニーズに取り組む教員が集まっています。これらの課題は複雑に絡み合っており、一部は現存する知識や技術で迅速に対処できるものもありますが、新たな技術や実践方法の模索が求められることもあります。この模索は、学生も教員も一緒に、多職種と共に、さらには問題を抱えている当事者と共に行います。

大学は、既存の知識を伝達するだけでなく、「新たな知の創造」を使命とする機関です。皆さんと共に行う“模索”は、まさに新たな知識の創造につながるプロセスです。共に模索し創造する意欲に満ちた皆さんと出会えることを楽しみにしております。

学部長 小林 法一





看護学科

大都市東京の第一線で 看護を担う

看護学は医学、生物学などの近接領域の基礎的な知識を基盤として、病気や障がいを抱えた人々の身体的・精神的・社会的な課題を理解し、根拠に基づいて支援することを探究する学問です。本学では、思考力を鍛え、専門的な技術や判断力、倫理的な感受性を身に付け、病院や地域で社会からの要求や期待に応えられる専門家となる人材を育成します。



3つの特色

1

高い国家試験合格率

知識や技術の習得はもちろん「考える力」を育みます。

2

実践重視の教育

人々の健康のためにさまざまな場所や立場で貢献できる「実践力」を鍛えます。

3

国際交流の機会

海外留学や交換留学生との交流のチャンスを通じて「国際的な視野」を獲得します。

●取得可能な資格・免許

☑ 学士（看護学）

☑ 看護師・保健師＊国家試験受験資格

＊保健師教育課程履修者のみ（選抜制）

看護師の免許を取得したのちには、助産学専攻科や大学院への進学により助産師や専門看護師を目指すことができます。

●看護師の仕事

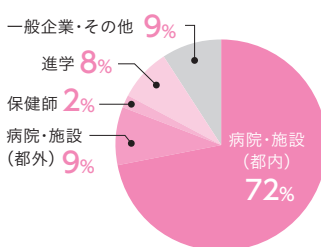
看護師は、乳幼児から高齢者まで、あらゆる成長発達段階にある人を対象とし、病気や障がいがあってもその人らしく健康的な生活ができるよう支援する仕事です。また、病気や障がいになる前や重症化を予防するためにかかわったり、家族やパートナーなど関係する人々に対する支援を行ったりします。

●国家試験合格状況（2024年実施）

資格名	受験者	合格者	合格率	全国※
看護師	79名	78名	98.7%	90.1%
保健師	21名	21名	100%	94.0%
助産師	10名	10名	100%	98.9%

※既卒者を含む

●進路情報（2024年実績）



●主な進路先

都立墨東病院、都立駒込病院、都立荏原病院、都立小児総合医療センター、国立国際医療センター、さいたま市立病院、東京大学医学部附属病院、東京科学大学病院、聖路加国際病院、千葉大学医学部附属病院、荒川区役所、東京都立大学 助産学専攻科

●大学院進学後の主な進路先

都立小児総合医療センター、川崎市役所、東京都立大学（教員）、上智大学（教員）、東京都立大学大学院

4年間の流れ

1年次	2年次	3年次	4年次
医療人である前に 人として教養を深める 大切な1年	看護の専門的な知識・ 技術に関する学習が 本格的にスタート	これまでの学びをもとに 臨床場で実践を通して さらなる学習を	4年間の総まとめを行い 医療人としての スタートラインを目指す
南大沢キャンパスで多彩な学 問に触れ、看護を学ぶ基礎を 作ります。	荒川キャンパスでさまざまな 対象に対する看護の講義・演 習を行います。	対象者はもちろん、家族や多 職種など多くの関係の中で実 践的に学びます。	総合臨床看護学実習、卒業研 究を通して、自ら考え実践する 力を養います。保健師教育課 程履修者は、公衆衛生看護学 の講義と実習を行います。

授業紹介

3年次

小児看護学演習

山本 美智代 教授

子どもと家族の未来のために、
小児看護の礎を築く

子どもと家族を大切に思い、確かな知識と
技術を持って看護できることを目指し、医師、
保育士、時には子どもと母親を先生にお迎
えし、授業を行います。

4年次

看護倫理学

習田 明裕 教授

「生きることに寄り添い支える」
看護の原点を学ぶ

看護は対象者の人権や尊厳、個々の価値
観に根差したケアを提供するだけに悩み葛
藤を抱えます。看護倫理はケアを方向づけ、
力を与えてくれる学問です。

4年次

災害看護学

小野 若菜子 教授

そのとき、わたしにできること、
あなたにできること

災害看護は、全ての人を対象としています。
災害が起こった直後から支援できる看護の
基礎知識、地区の災害対策を知り、今、私
たちができるところにトライします。



PickUp 授業

ヘルスアセスメント論・ ヘルスアセスメント演習

習田 明裕 教授

患者から出されるさまざまな情報を キャッチできる能力の育成

看護は患者の身体にどのようなことが生じているかを理解した上で、様々なケアを提供する専門職です。検査値や画像の結果も重要ですが、患者から発信される様々な情報から判断することが、今後居宅で療養する患者をケアする看護に求められる能力です。具体的には、表出されることば（問診）や目で見た反応や変化（視診）、出される音（聴診）、打ってわかる音（打診）、触れてわかること（触診）などです。こうした身体を診る技術であるフィジカルアセスメント能力を獲得し、さらに心理的・社会的な側面も含めたヘルスアセスメント能力を育てることが本科目の目的です。そのためお互いの身体を用いて健康な身体の構造を徹底的に理解する学内演習や、モデル人形を活用したシミュレーション教育を行っています。

学びの主な領域と課程

看護学科では、看護の基本を学ぶ「基礎看護学」、人の成長発達段階ごとの看護を学ぶ「母性看護学」「小児看護学」「成人看護学」「高齢者看護学」、身体疾患の看護とは異なる専門性をもつ「精神看護学」、入院患者ではなく生活者への看護である「在宅看護学」、さらには「国際看護学」や「公衆衛生看護学」など、幅広く多彩な切り口で看護を学びます。



高齢者看護学 小野 若菜子 教授

これからは、
私たちが「生きる」ことを支える

日本の高齢化に伴う看護の課題は、いかに「その人らしく生き生きと過ごす」ことを支援できるかです。高齢者看護学では、「健康に過ごす」ことを理解する方法として人型シミュレータを用いながら、「知識」を「実践」に活かすことができるように学びます。



成人看護学 三浦 里織 准教授

医療を受ける患者の命を守る技術力と
つらさを捉える想像力を身につける

成人看護学は、さまざまな疾患と治療を受ける対象者のニーズを学び、対象に応じた確実で安全な医療技術を提供する基礎と、応用するための考え方を講義と技術演習を通して身につける科目です。演習では看護師役、治療を受ける当事者役を交替で行い、当事者の目線で考える視点を養います。



母性看護学 木村 千里 教授

いのちを育み、家族を丸ごと支える！

母性看護学は女性の生涯にわたる健康生活への支援を学びます。妊娠期・分娩期・産褥期・新生児期における母子や家族の発達課題や健康問題だけでなく、女性の生涯を通しての性や生殖に関する健康的な生活を支えるための知識や技術を修得します。演習や実習では、近隣の母子支援施設において親子の支援を学習します。



保健師教育課程(科目名:公衆衛生看護学実習) 齊藤 恵美子 教授

保健師国家試験受験資格取得希望者が
履修する課程(選抜制)です

保健所・保健センターでの実習では、地域に暮らすさまざまな人々と触れ合いながら、人々の健康の維持・増進、健康障害の予防と回復を支えるための知識と技術を学びます。

助産学専攻科について

本専攻科は、看護師の免許を持った人が、助産師になるために必要な、知識と技術、心構えを身につける1年間のコースです。東京都立大学の看護学科からも、毎年、数名の学生が入学をします。学部から引き続き、同じキャンパスで学ぶことができます。助産師としての幅広い活動ができるよう、出産に関することだけでなく、思春期や、育児支援についても学ぶことが特徴です。

注：進学にあたっては、東京都立大学の学生も入学試験を受ける必要があります。

奨学金について

看護学科の学生は一定の条件のもと、東京都の「看護師等修学資金貸与制度」も利用可能です。
(→ P20「学生支援」のページ参照)

臨地実習

病院や地域の
さまざまな場所で
健康課題を持つ人々への
看護を実践的に学びます

教員は、学生がパフォーマンスを
最大限発揮して、充実した実習に
なるよう支援します。また実習前
に OSCE を実施し、健康課題を
持って生きている人々から真摯に
学ぶための準備を行っています。

	前期						後期					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2年次					基礎看護学実習Ⅰ				基礎看護学実習Ⅱ			
3年次				成人看護学実習Ⅰ			成人Ⅱ・母性・小児・高齢者・精神・在宅看護学実習					
4年次	総合臨地看護学実習		看護管理学実習		公衆衛生看護学実習							

* OSCE (Objective Structured Clinical Examination : 客観的臨床能力試験)
* 公衆衛生看護学実習 : 保健師教育課程履修者のみ

● 実習先一覧

基礎看護学領域	東京都立駒込病院、東京都立多摩総合医療センター
母性看護学領域	東京都立大塚病院、立川相互病院、東京都立豊島病院、日産厚生会玉川病院、榎原記念病院、日本医科大学付属病院、東京都内および神奈川県内助産院、東京都内および埼玉県の子育てサロン
小児看護学領域	荒川区立保育所、東京都立小児総合医療センター、心身障害児総合医療療育センター
成人看護学領域	東京都立駒込病院、国立国際医療センター、関東中央病院、東京都立墨東病院、東京都リハビリテーション病院、東京都立東部地域病院
高齢者看護学領域	杏林大学医学部付属杉並病院、東京都済生会向島病院、東京都健康長寿医療センター、花と森の東京病院、平成立石病院、令和あらかわ病院、日本医科大学病院
精神看護学領域	東京都立松沢病院、長谷川病院、吉祥寺病院、訪問看護ステーションWing、東京都立中部総合精神保健福祉センター、かがやき会、東京ダルク、やどかりの里、エナジーハウス、九段坂病院
在宅看護学領域	東京都立神経病院、柳原病院、川崎幸病院、東京都立大塚病院、東京都立駒込病院、東京都内訪問看護ステーション
看護管理学領域	東京都立多摩総合医療センター、東京都立広尾病院、東京都立小児総合医療センター、東京都立駒込病院、東京都立墨東病院
公衆衛生看護学領域	足立区・荒川区・江戸川区内保健所・保健センター、荒川区・足立区内地域包括支援センター

● 実習中の1日の流れ(例)

※成人看護学領域

実習内容	
8:00	病院に集合、着替え
8:30	申し送り、病棟へ挨拶、行動計画発表
9:00	受け持ち患者のバイタルサイン測定、情報収集
10:00	看護ケアの準備、実施、片付け
11:30	指導者への午前の報告
12:00	昼食、休憩
13:00	情報収集、看護ケアの準備、実施、片付け
14:30	指導者へ午後の報告
15:00	学生カンファレンス
16:00	病棟へ挨拶、実習終了、着替え
16:30	解散

学生カンファレンスでは、教員や実習指導者の方と集まり、実習中に出てきたさまざまな悩みを話し合います。

在学生の声



看護学科2年
寺島 千幸さん
(2023年度現在)

将来は助産師として看護師として
多面的に地域社会に貢献したい

中学時代から助産師になるのが目標。看護師免許を取得したら、助産学専攻科に進みたいと考えています。妊婦さんが救急搬送されるケースもあるため、今は急性期や救急分野などにも興味・関心を広げ、命を預かる仕事の重みを感じながら、自覚と責任感をもって学んでいます。一方で手話サークルや保育所でのボランティアのほか、性教育の普及を推進するNPO団体でも活動しており、将来は総合病院で経験を積んだ後、医療だけではなく、福祉や教育といった幅広い視点で地域に寄り添う働き方をしていきたいです。

寺島さんの時間割

	月	火	水	木	金
1限		病態学			小児看護学概論
2限	医療英語b	看護疫学	精神看護学概論	地域看護学概論	
3限	ヘルスプロモーション看護論	医療支援技術論	急性期看護学概論	医療支援技術論	成人看護学演習
4限	高齢者看護学概論	医療支援技術論演習	家族発達看護学	医療支援技術論演習	
5限		ヘルスアセスメント論演習		ヘルスアセスメント論演習	

「医療支援技術論演習」をはじめ、現在は学内の演習形式で進める授業がいくつもあり、気心の知れた学生同士ですぐに間違いを指摘し合えるメリットを感じています。2年次後期からは医療機関での臨地実習が始まります。まずは患部の痛みや治療への不安など、患者さんのリアルな症状や気持ちを把握するためのコミュニケーション方法を磨くことが目標です。(取材時は2年次)



理学療法学科

講義・演習、実習を通して、最新の知識・技術を提供しています

理学療法は幅広い分野での実践を社会から期待されています。こうした現状を踏まえ、さまざまな分野で、質の高い理学療法を提供できる専門職として社会に貢献できるように、幅広い教養と専門的な知識・技術の基本を効率よく修得できるようにプログラムを提供しています。その結果、国家試験についても、毎年高い合格率を誇っています。



3つの特色

1

少人数だからできる
細やかな指導

充実した設備の実習室を備え、各分野の専門教員によって、一人ひとりが確かな技術を身につけられるよう指導します。

2

地域社会・国際社会に
貢献できる専門職の育成

人々の健康のためにさまざまな場所や立場で貢献できる「実践力」を鍛えます。

3

自己研鑽が出来る
人材の育成

総合臨床実習を通じ、自ら解決すべき課題を見つけ、取り組むための総合的な知識と技術を修得していきます。

●取得可能な資格・免許

- ☑ 学士（理学療法学）
- ☑ 理学療法士国家試験受験資格

理学療法士の免許を取得したのちには実践経験に基づいて、介護支援専門員（通称：ケアマネージャー）や、関連医学会の認定資格の受験資格を得ることができます。

●理学療法士の仕事

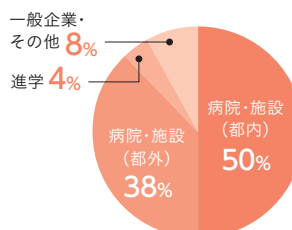
理学療法士は、病気やケガのために不自由になった「起きる」「立つ」「歩く」などの基本的な動作能力を回復するための治療やトレーニングをするのが仕事です。対象者が社会生活を送るための住宅環境を整えたり、訪問理学療法などを行ったりすることもあります。

●国家試験合格状況（2024年実施）

資格名	受験者	合格者	合格率	全国※
理学療法士	26名	26名	100%	89.6%

※既卒者を含む

●進路情報（2024年実績）



●主な進路先

町田市民病院、東海大学医学部付属病院、医療法人社団健育会 竹川病院、公益財団法人がん研究会有明病院、社会医療法人河北医療財団、東京湾岸リハビリテーション病院、医療法人社団筑波記念会 筑波記念病院、パラマウントベッド株式会社、東京都立大学大学院

4年間の流れ

1年次	2年次	3年次	4年次
教養科目を幅広く学び、専門教育科目の学修もスタート	専門科目の学修が本格化し、様々な分野を幅広く学ぶ	実習や演習が増加し、専門科目を深める学習により臨床実践能力を養う	幅広い選択科目や臨床実習により、理学療法の幅を広げ、臨床実践能力の向上をはかる
基礎医学科目の解剖学、生理学、運動学および基礎理学療法学科目を学修します。	臨床理学療法学科目を学びます。学年末には臨床実習を行います。	学年末には各医療機関の指導者による指導のもと、総合臨床実習を行います。	総合臨床実習に加え、卒業論文作成、国家試験対策などにも取り組みます。

授業紹介

2年次

機能・能力診断学演習

古川 順光 教授

理学療法の検査方法について学びます

運動機能障害を調べる方法のひとつである徒手筋力検査法を解剖学・運動学を復習しながら実技を通して学びます。

2年次

中枢神経系理学療法学

池田 由美 教授

脳卒中の理学療法に関する基礎を学びます

脳卒中の病態と障害像から、検査・測定の選択－理学療法手技の選択といった理学療法のプロセスと理学療法介入の基本を学びます。

3年次

徒手理学療法実習

来間 弘展 教授

徒手療法に関する基礎を学びます

理学療法の基礎となる徒手療法に重点を置き、徒手療法の系統別な考え方と各治療方法の治療手技・評価方法・適応等について学びます。

4年次

地域理学療法学

浅川 康吉 教授

地域理学療法学の理念、考え方を理解し、基本的知識を修得します

地域包括ケアシステムや地域で活躍する理学療法士像について主体的に考察するためアクティブラーニングを活用した授業を行います。



臨地実習

1年次から4年次にかけて、臨床実習を行います

実習前には、OSCEにより臨床実習が安全かつ効果的に行えることを確認しています。実習を通し、臨床実践能力を身につけます。

	前期						後期					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年次						臨床見学実習						
2年次											評価臨床実習	
3年次					小児理学療法学（保育園見学実習）					総合臨床実習Ⅰ		
4年次	総合臨床実習Ⅱ				地域理学療法学臨床実習							

* OSCE (Objective Structured Clinical Examination : 客観的臨床能力試験)



PickUp 授業

運動学実習 [3年次]

金子 文成 教授 他

運動学に関する事象を計測機器を用いて 解析することで身体運動の原理を深く理解します

運動学実習は、3年次前期に配置されている科目です。1年次に履修する「運動学I」、「運動学II」の実習科目になります。運動学I・IIで得られた人の運動に関する知識について、観察や計測機器を用いて分析することを通して、運動学に関する事象を確認します。①反応時間・筋伝導速度、②筋力・筋収縮、③姿勢（平衡機能）、④運動学習、⑤歩行解析、⑥心肺運動負荷試験、などの実習を体験し、身体の中で起こっている生理学的な事象を外から観察し、身体運動の原理を学びます。

実習においては、テーマごとに実験計画と計測を行い、得られたデータを解析します。データの解析においては、運動学をはじめとして解剖学や生理学で学んだ基礎知識と連携させて考察し、各個人がレポートをまとめるという思考と表現の過程を体験します。



在学生の声



理学療法学科3年
幅岸 彩さん
(2023年度現在)

障害者スポーツから装具まで 興味に応じて学びを深められる

私は高校時代に“車いすバスケット”を見て障害者スポーツに興味を持ち、理学療法士として選手を支える将来像を思い描きました。入学後は「義肢装具学」の授業をきっかけに、日常生活用からスポーツ用まで義足にも興味が拡大。実習では患者さんの症状や病歴に応じた注意点や声かけ方法なども学びながら、実践的な理学療法プログラムの引き出しが増えていき、理学療法での優先順位のつけ方についても理解が深まりました。4年次では装具や障害者スポーツについてより専門性の高い知識を得られる研究室に所属してさらに学びを深め、技術を磨いていきたいです。

幅岸さんの時間割

	月	火	水	木	金
1限			小児 理学療法		内部障害理学 療法実習I
2限		救急医学		画像診断学	
3限	理学療法 セミナー	高齢者 理学療法	物理療法 実習	内部障害理学 療法実習I	
4限					徒手理学療法 実習
5限	言語聴覚 治療学概論				

「理学療法セミナー」では、毎週ひとつの症例をテーマにして、筋力や関節の可動域といった数値データを見ながら、問題のある動作の要因を探り、望ましい理学療法プログラムを検討します。また、「小児理学療法」でも同様に理学療法の内容を検討します。3年次後期の「保育園見学実習」の経験も活かし、子ども向けに「遊び」の要素を取り入れたプログラムを考えていきます。

PickUp 授業

日常生活活動学 [2年次]

浅川 康吉 教授、信太 奈美 准教授

身体の不自由な人が
生活していくための方法を学びます

日常生活活動 (ADL: Activities of Daily Living) とは食事・排泄・更衣・入浴・整容・歩行などの身の回りの基本的な動作を表します。病気や怪我などにより、身体に障がいを負ってしまった方が通常の暮らしを行うことができるようにするための方法を学びます。障がいの程度により一人ひとりのできることやできないことが異なるため、どの程度であれば一人のできるのか、身体機能を調べ、どのような支援や道具があったらできるようになるのかを考えます。それらを理解したうえで、どのような指導や支援方法があるのかを提供できるように、学びます。また、これらを総合的に学んでいくことで、住宅改造や装具、自助具などの福祉機器の選択へ展開できる知識を修得することを目指します。



卒業研究

希望する研究分野で、4年次までの講義や実習を通して得られた専門知識を活用して、教員の指導のもと、各々の研究テーマに関する学習・討論をしながら研究を進めていきます。

VOICE

卒業研究を完成させていくプロセスは
卒業した今も大いに役立っています二羽 香菜都さん
16期生

「視覚的指標の階調変化が姿勢制御に及ぼす影響について」というテーマで卒業研究を行いました。3年次に行った運動学実習で、私自身が視覚に依存した姿勢制御戦略をとっていることに気づいた経験から、姿勢制御と視覚の関わりに興味を持ちました。過去に発表されている数多くの論文や先生からのアドバイスをもとに、視覚に依存した姿勢制御戦略をとる人ほど視覚的指標の階調変化に影響されやすいと仮説を立て、研究を行いました。視覚的指標の提示には Head Mounted Display を、姿勢制御の評価には重心動揺計を使用しました。先生方や被験者の皆さんに協力してもらいな

が予備実験を重ね、何度も実験方法を検討したことが印象に残っています。研究が思うように進まず辛いこともありましたが、妥協せずに研究を行い、発表できた経験は大きな自信となりました。現在は回復期リハビリテーション病院で理学療法士として勤務しています。卒業研究を通して学んだ知識や技術、データ分析力は、日々の臨床にも活きており、エビデンスに基づいた理学療法の提供に役立っているように感じます。今でも姿勢制御や視覚に興味があるので、これからも目の前の患者さんと向き合いながら学び、探究する姿勢を続けていきたいです。





作業療法学科

病院、企業、海外派遣などで
専門性を生かした活躍ができる
作業療法士を育成します

作業療法とは、年齢や障がいの有無に関わらず、その人らしい生活ができるよう支えるアプローチです。対象者のやる気を引き出し、作業や環境を調整し、対象者が「したい」作業＝生活行為が「できるよう」支援します。本学科では、生活者としての人に対する深い洞察力、社会的な課題の解決力等を磨き、多様な場面で専門性を生かした活躍ができる作業療法士を育成します。



3つの特色

1

人と社会の仕組みを
科学的に検証する

基礎医学や心理学などの人、生活行為、社会環境に関する知識や技術を網羅的に修得できます。

2

海外を知り、日本を学ぶ
海外大学との交流や海外研修を通じて世界の、授業実習・ボランティア等を通じて地域の作業療法を知ることができます。

3

大学院進学を見据えて
研究する

本学大学院（作業療法科学域）と連携し、ハイレベルな作業療法学の研究を経験できます。

●取得可能な資格・免許

- ☑ 学士（作業療法学）
- ☑ 作業療法士国家試験受験資格

国家試験に合格することで作業療法士の資格が得られます。作業療法士の免許取得後は、日本作業療法士協会の認定作業療法士や専門作業療法士を目指すことができます。

●作業療法士の仕事

その人らしさを発見し、生かすことが仕事

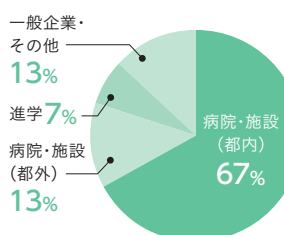
作業療法士は、人々がその人らしく生活できるようサポートすることを行っています。そのため、人々がしたいこと、期待されていることができるよう、心理的支援、環境分析、運動分析などを包括的に検討し、最適な支援を選択しています。

●国家試験合格状況（2024年実施）

資格名	受験者	合格者	合格率	全国※
作業療法士	44名	43名	97.7%	85.8%

※既卒者を含む

●進路情報（2024年実績）



●主な進路先

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター、心身障害児総合医療療育センター、千葉大学医学部附属病院、医療法人社団輝生会初台リハビリテーション病院、医療法人社団新百合ヶ丘総合病院（三成会）、特定医療法人 研精会 稲城台病院、公益財団法人横浜勤労者福祉協会 汐田総合病院、東京都立大学大学院

4年間の流れ

1年次	2年次	3年次	4年次
幅広い教養と基礎知識を他学科と一緒に学びます	作業療法過程の基礎を学びます	臨地実習を通して、身につけた知識と技術の融合を目指します	卒業研究、海外研修、地域貢献などを選択し、課題解決力を培います
基礎・教養・基盤科目の他に基礎的な専門教育科目を学び、多職種連携学習を開始します。	基礎的な専門教育科目と作業療法評価・計画・実施の過程の基礎を学内と学外で学びます。	学外の実習施設で行われる臨地実習で、作業療法過程と多職種連携を学びます。	自由度の高い時間割を活かして、学びや経験の機会を自ら選択し、個性を伸ばします。

授業紹介

2年次

基礎作業学実習

石橋 裕 准教授、山西 葉子 助教

あらゆる「生活行為」を分析し、知識や技術を身につけます

化粧、手工芸といったあらゆる「生活行為」を分析し、最適な支援ができるための知識や技術を身につけ、人々の生活行為を支援します。

2・3年次

作業療法総合演習

伊藤 祐子 教授、宮本 礼子 准教授

実践を通じて学び合い、縦のつながりで成長する！

2・3年生が合同で、知識の統合とクライアント支援のプロセスを学ぶ実践型授業。上級生との連携も強まります。

4年次

住環境整備学

橋本 美芽 准教授

住環境整備の基礎知識の修得を目指します

作業療法士の実務において、担当患者や障がい者の生活環境を指導する場合に求められる、住宅改造（住宅改修）と福祉用具活用の支援技術を学びます。



PickUp 授業

作業療法管理学

宮寺 亮輔 准教授

経験豊富な講師陣の講義により
社会が期待する作業療法士のあり方について
考える力が身につく

この授業では、作業療法を取り巻く社会の課題やニーズを見極めて即応する力を身につけるため、作業療法業務に関連する社会制度の仕組みを学びます。講義では様々な分野で管理職の経験を有する優れた外部講師の経験を紹介します。また社会制度の仕組みや理念を調べることで、作業療法を取り巻く社会の変化を分析できるようになります。地域共生社会の一員である自身の振る舞いに関して議論することを通じ、職業人としての3年後、5年後、10年後の働き方がイメージできるようになります。自身のキャリアプランに役立つ授業です。



社会制度や作業療法士協会活動の動向に関する情報提供をもとに、キャリアプランを検討している様子

臨地実習

計 22 週間の学外実習で
幅広い作業療法学を学ぶ

「作業療法初期臨地実習」は 4 週
間、「作業療法プロセス臨地実習」
は 10 週間、「作業療法総合臨地
実習」は 7 週間と、段階的に臨
地実践能力を育てます。

	前期						後期					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2年次												
3年次												
4年次												

臨地実習後セミナーと
卒業研究

国内外の学会形式を取り入れた、
先駆的アクティブラーニングの実施

作業療法学科では、アクティブラーニングを積極的に取り入
れています。7 週間の作業療法総合臨地実習では、関心の
あるテーマ（例：地域包括ケアシステムと生活支援など）を
発見し、それぞれ実習指導者の指導も仰ぎながら学びを深
めていきます。その成果は、実習後セミナーの中で学会と
同様にポスター発表として披露されます。
卒業研究の特徴は、人と作業の関係を追求した発表が多い
点にあります。卒業研究は、作業療法学科の教員研究室に
配属され、各自テーマを見つけ発表するか、大学院生や担
当教員の研究を一部担い発表しています。学部生の中で本
学の大学院進学が決定した学生は、大学院の修士課程を見
据えた研究を行うこともあります。



教員を交えてディスカッションする様子
右下は、短期留学生と合同の卒業研究発表の様子

在学生の声



作業療法学科2年
白根 小想さん
(2023年度現在)

音楽の力で、“その人らしさ”を
引き出せる支援をしたい

私は将来、作業療法士として、音楽の力
を取り入れながら、患者さんや高齢者の生
活を支えたいと考えています。精神領域の
授業では、懐かしい音楽が認知症の方に
良い影響を与えることを学びました。また、
たとえ片麻痺があっても、できる範囲で体
を動かし、演奏を楽しむことが可能だと知
り、音楽を通じた支援の可能性に関心を
持つようになりました。まずは、作業療法
の基本的なスキルや知識をしっかりと身に
つけ、将来的には地元の超高齢社会を支
える一員として、レクリエーション活動な
どを通して日々の暮らしに寄り添える支援が
できるようになりたいです。

白根さんの時間割

	月	火	水	木	金
1限		高齢領域の 作業療法学	義肢装具学		解剖学実習
2限	小児科学	救急医学		画像診断学	
3限	医療英語 a	認知機能 作業療法学	日常生活 活動学実習	作業運動学 実習	作業療法 総合評価学
4限					発達領域の 作業療法学
5限	言語聴覚 治療学概論				

3 年次では認知領域や小児領域など、さまざまな視点で作業療法士が実践
するリハビリプログラムの理解を深めました。例えば個別のプログラムを考え
るために「興味・関心チェックシート」を用いる面接方法や、満足度をヒア
リングして評価する方法、さらには患者さんの身近な方から情報収集を行い、
最適な作業療法プログラムを組み立てる方法などを学びます。



作業療法学科生 座談会

〔学生×教員 座談会〕 作業療法学科の魅力とは？

東京都立大学の作業療法学科は、東京都にある国公立大学で唯一の作業療法学科です。
その独自の魅力について、学生と教員に語り合ってもらいました。



井上 薫教授

生活支援機器の開発・臨床評価に関する研究、認知症ケアに関する研究、成人教育手法（医療系学生・地域住民・国際交流）に関する研究を専門とする。



山西 葉子助教

神経発達症児に対する作業療法介入、感覚統合療法の効果研究、発達性協調運動症児のアセスメント開発、余暇支援、医療的ケア児の保護者支援が専門。



樋口 晶さん

・入学試験種：一般推薦入試
・出身高校：昭和第一高等学校
東京都荒川区出身。地域密着型の荒川キャンパスに魅力を感じて入学。4年次は地域ボランティアとして患者さんを支えたい。



西尾 めぐみさん

・入学試験種：一般推薦入試
・出身高校：大阪成蹊女子高等学校
大阪府出身。東京で多くの人と出会い、知見を広げたい。福祉住環境コーディネーターの資格取得にもチャレンジしてみたい。

学部、学年を超えた活発なコミュニケーション

井上：都立大の作業療法学科は長い歴史があり、先輩たちがさまざまな分野で活躍していることが、後輩たちの励みになっていると思います。キャンパスの雰囲気はとても自由で、先生方は学生たちの主体性や興味関心を活かすよう指導していると感じています。

山西：私は地方出身なので、やはり東京の大学というアクセスの良さを実感しています。1年次は各学部が揃う南大沢のキャンパスで学びますが、2年次以降はアットホームな荒川キャンパスで学ぶことになりますね。

樋口：南大沢の基礎ゼミでは、他の学部の方と一緒にになる機会がありました。私は「発達について考える」ゼミで、グループワークや発表を通してさまざまな意見を聞くことができ、とても刺激を受けました。

西尾：荒川キャンパスでは先輩と親しくなる機会が多く、総合演習ではペアになった先輩にいろいろ教えていただきました。来年は自分たちがその立場になるとすると、気持ちが引き締まります。

樋口：実は私は荒川出身で、進路先を考える時に東京都の支援を受けられることが魅力でした。大学が地域密着で、荒川に貢献していることにも好感が持てました。

西尾：私は大阪出身ですが、東京でいろいろな人と出会いたくて入学しました。また、模擬講義受けた時に、企業で仕事をしたり、行政や司法の分野で活躍する先輩たちがいて、選択肢が広いと感じたことにも背中を押されました。

自由に柔軟に学ぶ、集大成の4年次

井上：作業療法学科は対人支援職を育成するコースなので、コミュニケーション能力が段階的に身につくようなカリキュラムになっています。学生が課題を設定して、どのようなアプローチで解決していくかを考えます。

山西：3年次までに実習を終えて、4年次は留学やボランティアなど、学生は自由に学ぶことができるのも魅力の一つではないでしょうか。特に都立大は留学のチャンスが多く、昨年は国家試験が終わったあとに、バングラデシュに赴き、作業療法の現場に入らせてもらった学生もいました。

井上：卒業研究を選択すると、4年次の前期から動き出し後期に発表を行います。同時に夏頃から就職活動が始まり、秋から冬にかけて内定が決まってきます。年明けからは国家試験対策に集中するという感じです。

樋口：私は4年生になったら、ボランティアで地域の患者さんのお手伝いをしてみたいと思っています。

西尾：私は地域訪問の作業療法に興味があります。また、福祉住環境コーディネーターの資格にもチャレンジしたいと考えています。

井上：医療系専門職を目指す学生さんたちは忙しいと思いますが、生活のどこかに楽しみを見つけて、勉強と遊びも全力で楽しんでほしいですね。

山西：すでに二人とも勉強と同時に、サークルなどで活動していますよね。これからは、さまざまな価値観を持つ人との関わりながら、多くの経験を積んでほしいですね。



放射線学科

確かな知識と技術を持ち合わせた次世代を担う放射線技術者の養成

医学と理工学の知識を正しく身につけ、最新の医療技術を理解して取り扱う力と、医師や他の医療職とのチーム医療に貢献できる豊かな人間性を備えた放射線技術者を養成します。また、卒業研究では、先端の医療技術に関する課題に取り組み、自己解決能力を育成します。



3つの特色

1

最新鋭の医療機器による実践教育

本学が有する医療機器（X線CT、MRI、リニアック、SPECT、PET/CT）を用いて臨床現場に即した実践教育を行います。

2

放射線科学分野をリードする優れた研究体制

大型放射線研究施設との相互協力体制が充実しており、最先端の研究に取り組む優れた教員が直接指導します。

3

高い進学率と多様な就職実績

約5割の学生は大学院に進学します。修了後は、大学病院などの中核病院、医療・原子力関連企業、行政機関、研究機関などに高い就職実績を有します。

●取得可能な資格・免許

- ☑ **学士（放射線学）** 卒業を要件として取得できます。
- ☑ **診療放射線技師国家試験受験資格** 卒業あるいは卒業見込で受験資格を取得できます。
- ☑ **放射線取扱主任者試験（国家資格）** 在籍中にも受験できます。

本学科では、3年次に放射線の取り扱いや管理に関する専門的な国家資格である放射線取扱主任者試験を受験することを推奨しています。

●診療放射線技師の仕事

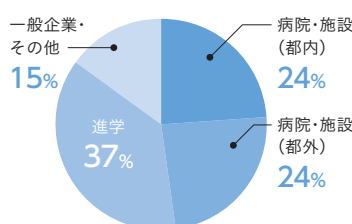
診療放射線技師とは、医師や歯科医師の指示のもと医療装置（X線装置、CT、MRI、超音波、PET、リニアック等）を上手に使って、患者さんの身体の中の様子（生体内の機能および形態情報）を調べたり、高エネルギーの放射線を使って、身体の痛みを和らげたり、がんの治療をする仕事です。

●国家試験合格状況（2024年実施）

資格名	受験者	合格者	合格率	全国※
診療放射線技師	43名	42名	97.7%	84.7%

※既卒者を含む

●進路情報（2024年実績）



●主な進路先

東京都立駒込病院、東京都立病院機構、国立がん研究センター中央病院、慶應義塾大学病院、聖路加国際病院、獨協医科大学埼玉医療センター、東京都立大学大学院

●大学院進学後の主な進路先

国家公務員共済組合連合会 虎の門病院、横浜市立市民病院、原子力規制庁、東京電力ホールディングス株式会社、キヤノンメディカルシステムズ株式会社、東京都立大学大学院

4年間の流れ

1年次	2年次	3年次	4年次
「幅広い教養」と 「放射線科学の基礎」の 修得	「放射線科学の基礎」と 「画像診断技術学」等 を学ぶ	「画像診断技術学」 「放射線治療」および 「核医学」等を学ぶ	「臨床実習」の完了と 「卒業研究」による 学びの集大成
南大沢キャンパスで他学部の 学生とともに全学共通科目を 学びます。放射線科学の基礎 となる科目を修得します。	荒川キャンパスでの講義と最 新の医療機器を用いた実験 実習を行います。	2年次と同様に講義と実験実 習を行い「画像診断臨床実 習」に臨みます。	「核医学臨床実習」と「放射 線治療実習」に臨みます。卒 業研究として最先端の研究課 題に取り組みます。

授業紹介

2・3年次

診療画像医学I・II

白川 崇子 教授、畑 純一 准教授

疾患の理解と画像所見から
画像診断学を理解する

臨床で放射線医学に携わるものとして必要な
画像診断を学びます。CT、MRI などから得
られた画像から診断や治療方針の決定に必
要な情報を読みとります。

2年次

放射線安全管理学実験

井上 一雅 教授、高島 賢 准教授

放射線を正しく理解し、
安全に取り扱う力を養う

種々の放射性同位元素を用いて、放射線に
よる障害防止のために必要な放射線防護や
放射線計測、放射性同位元素の管理に関す
る実験を行います。

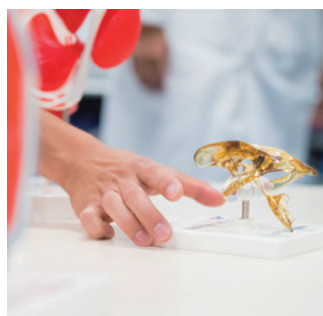
3年次

放射線治療技術学実習

明上山 温 准教授、張 維珊 准教授、
太平 新吾 助教

放射線治療計画から、
検証、照射までの総合力を身につける

放射線治療に関する技術学、腫瘍学、機器
学などで学習した知識を統合し、本学に設
置されている実際の放射線治療装置を用い
た実習に臨みます。



PickUp 授業

X線撮影技術学実習I

妹尾 淳史 教授、沼野 智一 教授、畑 純一 准教授

「撮影技術学」+「画像機器学」+「画像医学」
+「思いやり」=「診断価値の高い画像」

医師が正確な画像診断を行うには、診断価値の高い画像を
提供する診療放射線技師が不可欠です。この診断価値の高
い画像を提供するためには、操作する装置の深い理解に裏付
けされた高い技術（撮影技術学と機器学）と、撮影する部位の
画像解剖学や画像診断学の知識（画像医学）が必要です。本
学では、実際に病院で使用されている医療機器を使って実習・
実験を行っています。一例として、MRIを用いた実習・実験（2
年生時）の様子をご紹介します。MRIの実習では放射線被ば
くを伴わないので、「技師役」の学生がMRI装置を操作して
「患者役」の学生を撮影することが可能です。これにより、実
習（実学）で得られる技術と授業（座学）で得られる知識を高い
次元で融合することができることはもちろんのこと、検査時の
患者さんの気持ちにも着目して実習を行います。

臨地実習

日本で有数の大学病院や総合病院で行う実践教育

臨床実習には、履修に必要な科目の修得と実習前に実施されるOSCEに合格する必要があります。患者さんや医療従事者とのコミュニケーションスキルの重要性を肌で感じる貴重な機会となります。

	前期						後期					
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
3年次												
4年次												

* OSCE (Objective Structured Clinical Examination : 客観的臨床能力試験)

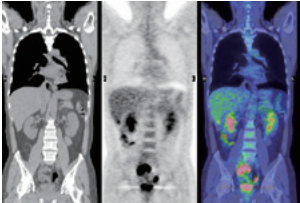
研究室紹介

放射線学科では、3年後期から各研究室へ配属され、卒業研究に取り組みます。どんな研究に取り組んでいるのでしょうか。少しだけ覗いてみましょう。

マルチモダリティイメージングを用いたがん研究

井上 一雅 教授

近年では、モダリティを複数併せて使用するための技術開発（マルチモダリティイメージング）が盛んに行われています。代表的なものに体内の「形態情報」を捉えるX線CT装置と、臓器や組織の「機能情報」を捉える核イメージング装置（SPECTやPET）を複合したSPECT/CT装置やPET/CT装置があります。研究室では、SPECTやPETに、組織コントラスト分解能に優れたMRIや、迅速で多様性の高い近赤外光イメージング技術を複合させる技術開発を行っています。



¹⁸F-FDG 検査 [CT 画像 (左)、PET 画像 (中)、PET / CT 画像 (右)]

時代のニーズにマッチした次世代放射線検出器の開発

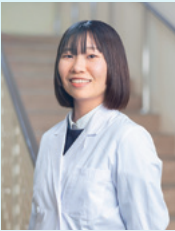
眞正 浄光 教授

古くから知られている鉱物などの物理特性を利用して“時代のニーズにマッチした次世代放射線検出器の開発”を進めています。放射線を利用した医療技術の進歩は、診断能を高め、がん治療においては飛躍的に治療効果を向上させています。一方で、この技術に応じた放射線検出の開発も求められていますが、種々の物理反応が複雑に影響し困難を極めています。加速器や原子炉などで実験を行い、皆で力を合わせて問題解決に奔走しています。



近畿大学原子力研究所にて

在学生の声



放射線学科3年
栗林 花風さん
(2023年度現在)

被曝量の正確な計測技術を確立させ放射線治療の可能性を広げたい

私の研究テーマは、“放射線の計測技術”です。現状の放射線治療では、放射線の種類や機器によっては被曝量が厳密に計測できず、その場合は治療効果よりも安全性を優先して照射量の上限が設定されます。そこで私は大学院に進学し、より精度の高い計測技術を確立することで放射線治療の効果を高める研究に尽力したいと思っています。研究内容は装置メーカーでも活かせるほか、大学院進学後は非常勤の放射線技師として臨床経験も積む予定のため、将来に向けて選択肢を広げた上で、自分の適性や可能性を見極めていきたいです。

栗林さんの時間割

	月	火	水	木	金
1限					
2限			核医学診断機器学	核医学I	
3限	放射線治療機器学		核医学検査技術学実習	特別研究I	
4限	ペイシェントケア論II				放射線治療技術学実習
5限					

「放射線治療技術実習」は、リニアックと呼ばれる高性能な放射線治療装置を使う授業。治療計画の検討に必要な計測や、医師が決めた治療計画に基づく放射線照射など、実務を想定した内容です。今後の臨地実習では、身長や体形、体の歪みなどの個人差を考慮したポジショニングや撮影スキル、患者さんの不安を和らげる声かけ方法などを患者さん相手に実践していきます。



Facility [設備・機器]

本学が有する「画像診断」・「核医学検査」・
「放射線治療」に関わる医療機器



広がる学びの世界

海外留学や他大学との単位互換制度などのサポートも充実。
多くの先輩たちが、学びの世界を広げています。

留学プログラム



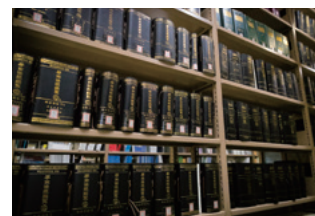
● 短期留学支援制度(健康福祉学部／実績)

年度	国名	大学名	人数
2024年度	タイ	⑧シーナカリンウィロート大学	2名
	スウェーデン	④カロリンスカ研究所	9名
2023年度	タイ	⑧シーナカリンウィロート大学	6名
	スウェーデン	④カロリンスカ研究所	9名
2022年度	タイ	⑧シーナカリンウィロート大学	4名
	イギリス	②キングストン大学	2名
2019年度	オーストラリア	③カーティン大学	2名
	スウェーデン	④カロリンスカ研究所	7名
	オランダ	⑤ロッテルダム応用科学大学	2名
	アメリカ	⑦テンブル大学 ※	5名

※ 大学院生を含む

本学部では、大学単位で行う学生交換プログラムの他、学部・学科単位でも経済支援を伴う留学プログラムを複数用意し、学生のニーズに合わせた取り組みをしています。例えば、IPE (Interprofessional Education) 海外短期研修では、スウェーデンなどの大学へ2週間程度の短期留学が可能で、海外におけるチーム医療や多職種連携協働の実践を学修することができます。文化や言語の違いを体感しながら、新たな発見を得られるチャンスです。

※2020年度、2021年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、中止となりました。



学生支援

キャンパスライフのさまざまな悩みや相談に、専門スタッフが対応しています。

● 学費

全国の大学でも最も安い水準となっています。施設設備費や実験実習費などの徴収はありません。

入学料	都民	141,000円
	都民外	282,000円
授業料(二期に分納)	年額	520,800円

※2025年度の学費は、在学中に授業料が改定された場合、改定後金額が適用されます。



● 入学料、授業料の減額・免除・分割納付

経済的理由で入学料や授業料の支払いが困難な学生を対象に減額・免除を行う制度です。授業料については、分割納付制度もあります。なお制度改正が行われる場合がありますので、詳細は必ず最新の減免申請要項を確認してください。

● 奨学金(貸与または給付)

日本学生支援機構(JASSO)の奨学金をはじめ、各種奨学金を案内しています。詳細はウェブサイトでご確認ください。また、東京都では都内の看護師養成施設に在学し、将来都内で看護業務に就く学生を支援する「看護師等修学資金貸与制度」を設けています。

● 日本看護学校協議会共済会・総合補償制度(Will)

Willは医療系学生を対象とした補償制度です。実習中の不慮の傷害や賠償・感染事故などにも対応可能です。2年次進級後、荒川キャンパスで加入します。

● 健康サポート

学生の心身の健康サポートにも力を入れています。キャンパス内には専任の看護師が常駐している保健室があります。また、学生相談室では週3回、心理カウンセラー(臨床心理士)が対応しています。もちろん、担任の先生に相談することもできます。相談内容については厳守しますので、気軽に相談に来てください。



保健室



学生相談室

● キャリア・就職支援

キャリア支援

キャリア相談室では、国家資格を持つキャリアカウンセラーや実務経験豊富な就職相談員が各々週1回程度、就職・進路に関する個別相談に応じています。相談には、事前にウェブ予約が必要です。進路相談や就職活動の仕方から内定後の対応まで一人ひとりのニーズに合わせて対応します。また、校内での合同就職説明会なども開催しています。

就職資料室

全国の病院・施設等から送られてきた求人票やパンフレット、先輩たちの試験結果報告書など、就職活動に必要な書類を都道府県別、公・大学等形態別、職種別に閲覧できるように用意しています。



施設紹介

健康福祉学部のカンパスとして、
専門的な医療機器をはじめ最新の施設・設備が揃っています。

図書館(荒川館)

集中して学習ができる個室
やグループ討議ができるス
ペース等、用途に合わせた
様々な場を設置しています。
医療分野中心の図書資料は
もちろん、医療シミュレー
ターモデルの利用も可能で
あり、学科の垣根を越えて多
くの学生が利用しています。

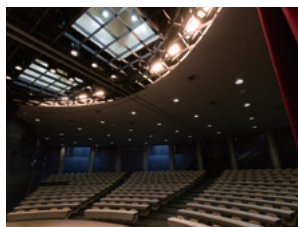


● ラウンジ・閲覧席



● 書架

実習室・設備



講堂

荒川キャンパスのシンボリックな建物。
イベントなどで利用されています。



生活支援実習室

福祉機器を用いた在宅用の支援技
術を学ぶための教室です。



体育館

サークル活動や障がい者スポーツ関連
イベントなどで幅広く利用されています。



食堂

ガラス張りの開放的な明るい空間は、
学生の憩いの場所です。

課外活動

荒川キャンパスには、授業や実習の合間をぬって、
課外活動に積極的に参加している学生がたくさんいます。

サークル活動

19の団体が活動しています。体育会系や文化系の他、
健康福祉学部ならではのユニークな活動を行っている
サークルもあります。

サークル一覧

- dasLied 荒川支部
- 35(座後)サポネットinあらかわ
- 三曲会 in 荒川
- 軽音サークル
- 都立大子供支援サークル
C-save
- ピアノ・室内楽練習サークル
Dolce 荒川支部
- Unplugged
- 管弦アンサンブル "Pastorale"
- 老後サポネット
- 荒川キャンパス国際交流サークル
- 荒川バトミントンサークル
- 荒川バレーボールサークル
- テコンドーサークル
- 荒川バスケットボールサークル
- 水泳サークル
- Orange.T.C.
- 荒川テニスサークル
- 水泳サークル
- 東京都立大学競技チアリーディング
サークル WILD BOARS

青鳩祭(学園祭)

毎年10月に開催する学園祭です。健康福祉学部オリジ
ナルのイベントや出し物がたくさん行われています。学
内外を問わず、地域の多くの来場者でにぎわいます。



大学院 [人間健康科学研究科]

さらに高度な専門知識の修得を目指したい人には、大学院進学の道を用意しています。



人間健康科学研究科では、大都市で生活する人々の「健康」に関連する研究を重点的に行っています。特に東京都立大学の使命である「活力のある長寿社会の実現」に貢献する研究は、本専攻の重要課題のひとつです。幅広い分野の理論や実践的知見を礎に確立された学問体系を基盤とし、それを深化させるとともに、学際的・融合的な研究体制のもと、大学院教育が行われています。研究活動に関わるさまざまな分野における「高度実践的専門家」ならびに「先端的研究者」の育成を目指します。

大学院生の声



人間健康科学研究科
作業療法科学域
博士前期課程1年
坂 直樹さん
(2024年度現在)

大学院での研究成果を 現場に活用していきたい

脳卒中に罹患された方を対象に、自動車運転の再開に向けた支援に携わるなかで、リスクのある運転行動に対して、対象者の認識の高め方に難しさを痛感。大学院では、研究手法を学びながら、運転行動の認識に関する研究を計画しています。先生方、先輩方のご指導も手厚く、体系的に学習できる環境で、普段の臨床への広がりも感じています。

6つの学域

看護科学域

大都市で生活する人々及び地域の「健康」をテーマとし、看護科学の研究・教育を通じて個人と集団の「健康」に寄与し、生活の質の向上と活力ある長寿社会の実現を目指します。

理学療法科学域

都市生活者を中心とする人々の抱える具体的な健康・障害課題に対する理学療法科学の知識・技術の応用と、それに必要な創造力、科学的思考能力、問題解決能力を体系的・総合的に身につけます。

作業療法科学域

これまでの学問領域にとらわれることなく、作業療法学を取り巻く学際的・融合的な教育と研究体制を構築することで、総合的な作業療法科学域を探究します。

放射線科学域

放射線学の専門知識と技術の最新の知見を教授することによって、専門領域における知識を深め、創造的かつ科学的思考に基づいた研究能力を持ち合わせた高度放射線専門職を育成します。また、現場のニーズに即した先端医療技術を開発できる人材の育成も目指しています。

フロンティアヘルスサイエンス学域

健康科学・医学の諸課題に対して、機能形態科学・筋肉生理学・社会科学的保健医療論・災害リスク管理論などの学際的・先端基礎科学的研究戦略でアプローチします。

ヘルスプロモーションサイエンス学域(南大沢キャンパス)

心身の健康増進に関わる諸問題に対して、スポーツ科学、生命科学、認知科学等の観点から基礎的原理と真理を追究し、応用・実践を視野に入れた学際的理解を基軸とする新たな健康科学を創造・推進することを目指しています。

卒業生からのメッセージ

健康福祉学部の4年間が現在の仕事にどのように活かされているか。卒業生に聞きました。



患者さん一人ひとりに寄り添った 関わりをつきつめていきたい。

野村 良美さん
2020年度(2021年3月)看護学科卒業

都立病院機構 東部地域病院 勤務
(2025年度現在)

在学中は患者さんの個性をふまえた看護介入について重点的に学びました。情報収集からアセスメント、看護計画の立案・介入という一連の流れは看護では欠かせないものです。実習を通して、受け持ち患者さんにとって最も重要なことは何か、深く考えるきっかけになりました。学生時代はアセスメントや全体像を捉えるのに苦労しましたが、先生方の熱心な指導や実習メンバーとのカンファレンスにより、スキルを培うことができました。現在は、整形外科と婦人科の混合病棟に勤務しています。患者さんの希望する生活が維持できるよう、多職種と連携した退院支援に力を入れています。学生時代に学んだ個性を重視した関わりが重要であると実感しています。私たちの看護介入によって、患者さんが元気になる退院していく姿を見られることが、やりがいになっています。



年齢の壁を越えた先のリスペクトは 貴重な経験に。

荒川 真由子さん
2023年度(2024年3月)作業療法学科卒業

平成医療福祉グループ介護福祉事業部門
地域精神ケア事業部 大内病院 勤務
(2025年度現在)

舞台芸術分野での仕事を辞め、作業療法を学ぶため、様々な学校を見学するなかで、作業療法と芸術の関係について、都立大の先生はとても熱心に耳を傾けてくださいました。入学してから、どんなに曖昧な悩みでも親身になって相談に乗ってください、安心して勉学に励むことができました。都立大での学びで特に印象的だったのはグループワークが多いこと。一回り以上年齢の違う同級生たちとの接し方に最初は悩みましたが、事例検討や下級生へ評価法を伝えるための勉強会などグループワークを重ね、お互いにリスペクトをもって接することができるようになっていきました。現在は、年齢や立場など様々な垣根を超えて、病院と地域を繋ぐ仕事をしているのですが、考え方の違いに戸惑うこともありつつ、楽しみながら働くことができているのは都立大での経験があるからだと感じています。

